千葉大学医学部附属病院で
ロボット支援胸腔鏡下手術を受けられた
患者の皆様、ご家族の皆様へ

２０２６年９月２５日

麻酔・疼痛・緩和医療科
呼吸器外科

麻酔・疼痛・緩和医療科では、ロボット支援胸腔鏡下手術における持続硬膜外鎮痛の有無での術後疼痛の比較に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2022 年 4 月 1 日～2024 年 12 月 22 日の間に呼吸器外科で肺腫瘍や縦隔腫瘍などと診断され、ロボット支援胸腔鏡下手術(RATS) を受けた方

１．研究課題名

「ロボット支援胸腔鏡下手術における持続硬膜外鎮痛の有無での術後疼痛の比較：後方視的観察研究」

２．研究期間

２０２５年承認日～２０２８年３月３１日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

３．研究の目的・方法

本研究では、当施設で 2022 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 22 日の間にロボット支援胸腔鏡下手術(RATS)で行われる呼吸器外科手術を受けた方の診療録情報を解析させていただき、「硬膜外麻酔を併用した症例」と「硬膜外麻酔を併用しない症例」を比較し、術後疼痛スコア(NRS)を比較検討します。さらに、疼痛コントロールを不良にするリスク因子の探索も行います。この研究により、ロボット支援胸腔鏡下手術(RATS)での最適な麻酔方法を探索できると考えます。

４．研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、性別、BMI、術式、手術情報（手術時間、麻酔時間、手術室在室時間、周術期鎮痛方法、術中鎮痛薬使用量）、術後疼痛情報（術後疼痛スコア(NRS)、レスキュー鎮痛薬の使用量、嘔気嘔吐、硬膜外麻酔中断の有無と理由）など。

５．研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：麻酔・疼痛・緩和医療科　助教　山田高之

６．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院麻酔・疼痛・緩和医療科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html）

７．研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒２６０－８６７７

千葉県千葉市中央区亥鼻１－８－１

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

麻酔・疼痛・緩和医療科　助教　山田高之

０４３（２２２）７１７１　内線７２３４１